

KITANO 消化器センター TIMES

2020.08
vol. 3



副院長
消化器センター長 / 消化器外科主任部長
がん診療センター長

寺嶋 宏明

いつも北野病院をご支援いただきありがとうございます。当院では新型コロナウイルスを含む感染症対策を徹底して行いながら、通常の医療業務を継続しております。さて、外科手術の低侵襲化の波はますます大きくなってきており、中でもロボット支援手術の発展と適応拡大はめざましいものがあります。昨年より当科で新たに導入したロボット支援下胃切除の現状をご紹介します。

平素より消化器センターの診療にご協力頂き、誠にありがとうございます。食道・胃における低侵襲手術（内視鏡下手術）を専門に診療に当たっております。食道・胃の分野においても、傷が小さく、体に対する負担の少ない内視鏡下手術が可能な時代となって参りました。好きな言葉は「一期一会」。患者さんとの出会いを大切に、患者さんが笑顔になれる治療を目指して診療に当たらせて頂きます。宜しくお願い致します。



消化器外科 副部長
田中 英治

Pick Up!

胃癌における内視鏡外科手術の最先端～ロボット支援下手術～

胃癌の分野において、1991年、世界に先駆けて日本で腹腔鏡下胃切除が行われて以降、胃癌に対する内視鏡下手術は、低侵襲手術として広まって参りました。

一方、腹腔鏡下手術には、鉗子の可動域制限や2D画像といった弱点がありました。その弱点を克服するべく da Vinci surgical robot システム (robot 支援下手術) が導入されました。

胃癌において、脾関連の術後合併症を軽減できる可能性が報告され、2018年4月以降、施設基準、術者基準を満たす施設において、保険診療による robot 支援下手術が可能となりました。当院でも2019年8月以降導入し、良好な結果を治めています。

★ロボット支援下胃切除の実際と導入初期の短期成績



鉗子の関節機能を利用し、脾臓に鉗子が干渉することなく動脈周囲のリンパ節郭清が可能です。

	平均出血量	合併症 (Clavian-Dindo 2<)	術後在院日数
robot 支援下胃切除 7例 (2019年8月-2020年3月)	17±8ml	0/7 (0%)	9.2±1.7日

今後も患者さんに優しい治療を目指して頑張っております。宜しくお願い致します。

田中 英治 Dr プロフィール

資格等

日本外科学会専門医・認定医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本食道学会食道科認定医
日本食道学会食道外科専門医
日本食道学会評議員
京都大学医学博士

専門領域

消化器外科、内視鏡外科、食道・胃外科

北野病院消化器センターは、地域の先生方とお互いの想いを伝え合える積極的な連携を目指しています。あらゆる消化器疾患に関して、是非ご相談ください。

連絡先

地域医療サービスセンター
TEL 06-6131-2955 (直通)
FAX 06-6312-8620 (直通)